証券コード6471

2009年3月期
NSKグループ中間報告書

（2008年4月1日～2008年9月30日）

JIMTOF 2008　第24回日本国際工作機械見本市
NSKブース

MOTION & CONTROL™
NSK
日本精工株式会社

強い会社作りを進めます ～ 次の成長へ向けて体質強化を加速 ～

代表執行役社長
朝香　聖一

Q 当中間期の概況と販売状況についてお聞かせください。

A 当中間期のグローバル経済は、原油・原材料価格が高騰するなかで、欧米の金融危機が実体経済に波及し、減速傾向となりました。日本経済は、個人消費が力強さを欠き、企業部門も輸出や設備投資が弱含むなど景気の減速傾向が明らかになりました。米国は、住宅投資の減少に加え、生産が減少し設備投資も弱い動きとなり、大手金融機関の破綻を始めとする金融市場混乱の深刻化もあり景気は後退しました。欧州はユーロ圏や英国の景気は弱含みました。アジアは、中国では景気拡大が続いていますが、韓国やシンガポールなど一部で減速傾向が見られました。

当社グループの事業領域におきましては、資源・エネルギー関連の需要は高水準で推移しておりますが、グローバルな景気減速の影響を受け、自動車向けや自動車・半導体関連設備等向けの需要が減少しました。この結果、当中間期の売上高は3,833億25百万円と前年同期に比べ3.8%の増収となりました。

Q 収益の状況は如何でしたか。

A 利益面につきましては、原材料価格上昇などのコストアップや円高による輸出採算の悪化に対し、物量増効果や生産性の向上、調達コストの削減などコストダウンに努めましたが、営業利益は286億13百万円と前年同期に比べ9.4%の減益となりました。

経常利益は289億16百万円と前年同期に比べ1.5%の減益となりました。特別利益に固定資産売却益4億89百万円、特別損失に投資有価証券評価損17億39百万円を計上し、税金費用及び少数株主利益を差し引いた後の中間純利益は176億66百万円と前年同期に比べほぼ横ばいとなりました。

所在地別セグメントの業績は次の通りです。

① 日本

産業機械軸受の売上高は、鉄鋼向け、工作機械向けや建設機械向けが増加しました。自動車関連製品は、軸受は、高水準な自動車生産を受け、堅調な伸びを示しましたが、期後半には減速傾向となりました。自動車部品は、拡販により電動パワーステアリングやオートマチック・トランスミッション用部品が増加しました。精密機器関連製品は、工作機械向けは堅調に推移しましたが、半導体関連向けが減少しました。

この結果、日本の売上高は2,815億11百万円（前年同期比＋7.1%）となりました。営業利益は、物量増効果はありましたが、円高による輸出採算の悪化、原材料のコストアップや販売管理費の増加などにより164億7百万円（前年同期比△23.3%）となりました。

② 米州

産業機械軸受の売上高は、米州は一般機械、建設機械向けや電機向けが増加しました。自動車関連製品は、軸受はブラジルの二輪車向けは好調でしたが、米国は自動車メーカー生産減少

連結中間決算ハイライト

（単位 百万円）

	2009年3月期 中間	2008年3月期 中間	2008年 3月期
売上高	383,325	369,326	772,036
営業利益	28,613	31,576	69,343
経常利益	28,916	29,368	64,854
中間（当期）純利益	17,666	17,701	42,613
総資産	828,477	817,540	828,580
純資産	298,144	291,987	283,775
自己資本比率（%）	34.0	33.8	32.3
1株当たり			（単位 円）
純資産	521.28	511.31	495.61
配当額	10.00	9.00	19.00
中間（当期）純利益	32.68	32.75	78.84

の影響もあり、主に自動車部品が減少しました。精密機器関連製品は工作機械向けが増加したものの半導体関連向けが減少しました。

この結果、米州の売上高は490億48百万円（前年同期比△10.0%）となりました。営業利益は、原材料のコストアップや販売管理費の増加などにより21億61百万円（前年同期比△13.8%）となりました。

③ 欧州

産業機械軸受の売上高は、風力発電向けやアフターマーケット向けが増加しましたが、電機向けが減少しました。自動車関連製品は、拡販によりハブユニット軸受が増加しました。精密機器関連製品は工作機械向けが増加しました。

この結果、欧州の売上高は717億9百万円（前年同期比＋8.4%）となりました。営業利益は、物量増効果や外部調達コストの削減、販売管理費の減少などにより61億29百万円（前年同期比＋50.0%）となりました。

④ アジア

産業機械軸受の売上高は、中国の電機や一般機械向け、インド向けなどが増加しました。自動車関連製品は、軸受は中国のハブユニット軸受や玉軸受が増加しましたが、自動車部品は、タイでピックアップトラック用のステアリングコラムが減少しました。精密機器関連製品は、韓国、中国、台湾において直動製品が増加したほか、液晶パネル用露光装置が増加しました。

この結果、アジアの売上高は609億84百万円（前年同期比＋10.0%）となりました。営業利益は、物量増効果などにより67億37百万円（前年同期比＋7.2%）となりました。

Q 利益配分に関する基本方針、当期の配当の考え方をお聞かせください。

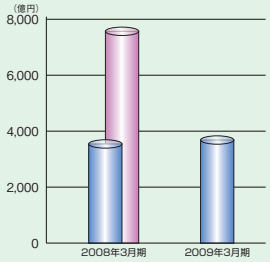
A 当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営方針の一つとしております。配当につきましては、安定的な配当を継続実施していくことを基本としつつ、連結ベースでの配当性向や業績水準等を勘案して決定したいと考えております。この基本方針のもと、当期の中間配当金につきましては、1株当り10円で実施いたします。

Q 最後に株主の皆様へのメッセージをお願いします。

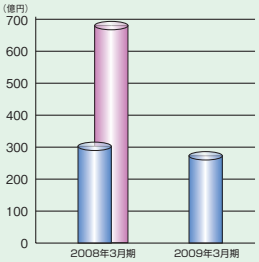
A 今年度は、成長戦略と体質強化を二本柱として推進してきた中期経営計画の最終年度となります。円高や金融危機の影響によるグローバルな景気減速など、会社を取り巻く環境は厳しさを増しておりますが、中期経営計画で取り組んできた戦略や施策は確実に成果を上げつつあります。今までの取り組みが次の成長に繋がると確信し、体質強化を更に加速し、人・モノ・カネを徹底的にスリム化し、キャッシュ・フロー重視の経営に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜わりますようお願い申し上げます。

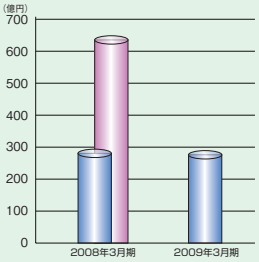
●売上高



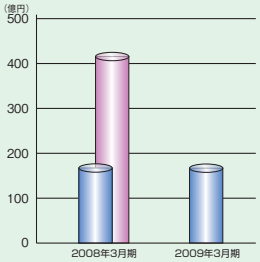
●営業利益



●経常利益



●中間（当期）純利益



製品別売上高の概要（連結）

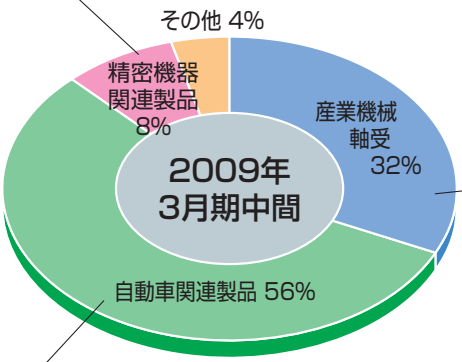
精密機器関連製品

NSKの精密機器関連製品は、ボールねじ、リニアガイドなどの直動製品、XYテーブル、メガトルクモーターなどのメカトロ製品と液晶カラーフィルター用露光装置のシステム製品で構成されております。
NSKは3つの製品で高精度・高速位置決めを必要とされる世界の様々な先端技術産業のお客様のニーズにお応えし、多種多様な商品を提供しております。

売上高の概要

日本国内向けは、工作機械向けが堅調に推移しましたが、半導体製造装置向けの需要が低迷したことにより、前年同期比で4.7%の減収となりました。
一方、海外におきましても、欧州・アジアで工作機械向け、液晶製造装置向けを中心に堅調に推移しましたが、米州での半導体製造装置向けの需要低迷により、0.2%の減収となりました。以上の結果、精密機器関連製品では前年同期比2.5%の減収となりました。

高速機械用ボールねじ「HMDシリーズ」
NSKの高速静音技術を工作機械用ボールねじに応用。高剛性・高負荷容量を兼ね備え、品位の高い送り系を実現



小型・高信頼性駆動輪用ABSセンサ内蔵ハブユニット軸受
成長著しいBRICs市場の過酷な環境下での高信頼性を実現

産業機械軸受

NSKの産業機械軸受は、グローバルな総合軸受メーカーとして販売・生産・研究開発の拠点を日本・米州・欧州・アジアの4極に展開し、小径・標準玉軸受から超大形ころ軸受に到るまで、多種多様な軸受を世界のあらゆる産業・地域に供給しております。中でも、産業機械用大形ころ軸受・精密軸受や小径～標準玉軸受ではフルレンジの品揃えと技術力による高い市場シェアを持ち、世界をリードしております。

売上高の概要

日本国内向けは、鉄鋼プラント向けの増や、海外での堅調な環境、資源需要や新興国インフラ需要に基づく工作機械向け、建設機械向けを始めとする各国内産業向けの増により堅調に売上げを伸ばしました。
一方、海外でも欧州での風力発電向けを始めとした需要拡大や、米州でのアフターマーケット向け拡販、高成長を続ける中国／インドでの各産業向け大幅増など、各極で順調に売上を伸ばしました。
以上の結果、産業機械軸受全体では前年同期比6.0%の増収となりました。

自動車関連製品

NSKの自動車関連製品事業は、ハブユニット軸受やニードル軸受などに代表される自動車軸受事業、電動パワーステアリングをはじめとするステアリング事業、ワンウェイクラッチなどのオートマチック・トランスミッション用部品事業で構成されております。
NSKは、環境への配慮、更に安全性、快適性を追求した製品開発をしてグローバルな生産拠点を活用しながら、日本のみならず米州・欧州・アジアの自動車メーカーにも幅広く高性能・高品質の製品を供給しております。

売上高の概要

日本国内向けは、堅調な自動車生産を背景に小型玉軸受及びニードル軸受が大幅な増収となりました。また自動車部品も電動パワーステアリング、オートマチック・トランスミッション部品を中心に増加基調で推移しました。
一方、海外におきましては自動車軸受がハブユニット軸受を中心に欧州及び中国で増加しました。この結果、自動車関連製品では前年同期比2.4%の増収となりました。

調心輪付き高耐食長寿命軸受
高硬度高耐食性により化学フィルム搬送用軸受として従来比10倍の寿命を実現

中間連結決算の概要

中間連結貸借対照表

（単位　百万円）

科　目	2009年3月期 中間 (2008年9月30日)	2008年3月期 中間 (2007年9月30日)	2008年3月期 (2008年3月31日)
（資産の部）			
流動資産	405,159	381,169	404,412
現金及び預金	60,081	73,648	66,259
受取手形及び売掛金	149,168	130,813	137,439
有価証券	29,298	27,875	51,600
製品	65,033	59,403	57,860
原材料及び貯蔵品	11,463	10,019	10,156
仕掛品	42,786	37,582	33,832
その他	48,508	43,218	48,488
貸倒引当金	△1,179	△1,391	△1,223
固定資産	423,318	436,370	424,167
有形固定資産	272,708	262,225	268,055
建物及び構築物（純額）	77,922	75,339	77,773
機械装置及び運搬具（純額）	136,849	126,086	125,577
その他（純額）	57,936	60,798	64,704
無形固定資産	10,584	10,543	10,520
投資その他の資産	140,025	163,602	145,591
投資有価証券	84,986	111,258	91,051
前払年金費用	44,519	41,027	43,830
その他	11,235	12,151	11,499
貸倒引当金	△715	△834	△789
資産合計	828,477	817,540	828,580

科　目	2009年3月期 中間 (2008年9月30日)	2008年3月期 中間 (2007年9月30日)	2008年3月期 (2008年3月31日)
（負債の部）			
流動負債	284,998	292,478	294,318
支払手形及び買掛金	132,304	125,109	130,966
短期借入金	87,704	85,224	84,787
1年内償還予定の社債	—	23,000	10,000
未払法人税等	6,974	5,597	6,199
その他	58,015	53,547	62,364
固定負債	245,334	233,074	250,486
社債	127,000	92,000	127,000
長期借入金	47,027	46,672	42,625
退職給付引当金	28,603	39,707	36,592
役員退職慰労引当金	1,302	1,038	1,202
環境対策引当金	178	313	268
その他	41,221	53,341	42,795
負債合計	530,333	525,553	544,804
（純資産の部）			
株主資本	291,075	276,665	296,193
資本金	67,176	67,176	67,176
資本剰余金	78,324	78,278	78,304
利益剰余金	149,724	135,345	154,846
自己株式	△4,151	△4,134	△4,134
評価・換算差額等	△9,269	△298	△28,279
その他有価証券評価差額金	16,011	33,877	18,216
為替換算調整勘定	△25,281	△9,280	△21,586
英国子会社等の退職給付債務処理累計額	—	△24,895	△24,909
新株予約権	234	108	170
少数株主持分	16,104	15,511	15,690
純資産合計	298,144	291,987	283,775
負債純資産合計	828,477	817,540	828,580

中間連結損益計算書

（単位　百万円）

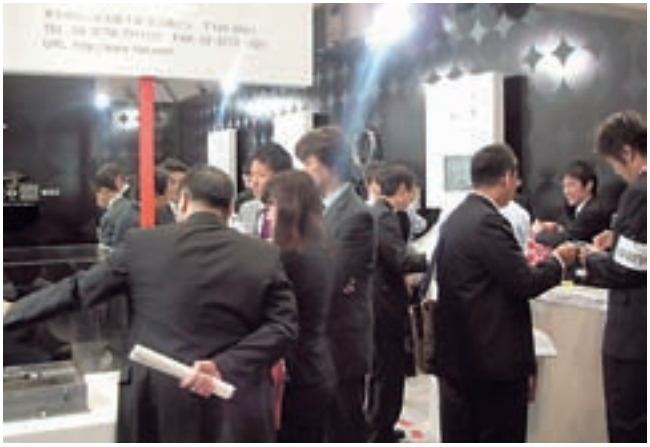
科　目	2009年3月期 中間 (自 2008年4月 1日 至 2008年9月30日)	2008年3月期 中間 (自 2007年4月 1日 至 2007年9月30日)	2008年3月期 (自 2007年4月 1日 至 2008年3月31日)
売上高	383,325	369,326	772,036
売上原価	299,000	284,555	593,736
売上総利益	84,325	84,771	178,299
販売費及び一般管理費	55,712	53,194	108,956
営業利益	28,613	31,576	69,343
営業外収益	6,011	5,194	10,882
受取利息	1,024	905	1,990
受取配当金	785	723	1,100
持分法による投資利益	1,953	1,919	4,475
その他	2,247	1,646	3,316
営業外費用	5,707	7,402	15,371
支払利息	3,047	3,140	6,246
製品補償費	1,290	—	—
その他	1,368	4,262	9,125
経常利益	28,916	29,368	64,854
特別利益	489	159	871
投資有価証券売却益	—	159	871
固定資産売却益	489	—	—
特別損失	1,739	164	2,112
損害賠償損失	—	—	1,948
関係会社株式売却損	—	164	164
投資有価証券評価損	1,739	—	—
税金等調整前中間（当期）純利益	27,666	29,363	63,613
法人税等	8,883	10,670	19,173
少数株主利益	1,117	991	1,827
中間（当期）純利益	17,666	17,701	42,613

中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位　百万円）

科　目	2009年3月期 中間 (自 2008年4月 1日 至 2008年9月30日)	2008年3月期 中間 (自 2007年4月 1日 至 2007年9月30日)	2008年3月期 (自 2007年4月 1日 至 2008年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,391	32,407	69,236
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,943	△11,883	△23,187
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,792	△17,857	△5,923
現金及び現金同等物に係る換算差額	△865	447	△945
現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	△24,209	3,114	39,180
現金及び現金同等物の期首残高	113,226	73,319	73,319
連結子会社の決算期変更による増加高	―	726	726
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	89,017	77,159	113,226

JIMTOF 2008　第24回日本国際工作機械見本市


お客様でにぎわうNSKブース

NSKは、10月30日（木）から11月4日（火）まで東京ビッグサイト（東京都江東区）にて開催された「JIMTOF 2008　第24回日本国際工作機械見本市」に出展しました。今回は、「人が技術をつくります。あたりまえのことが、私たちのメッセージ。」をコンセプトに、工作機械の未来に役立つ最先端技術を中心に紹介し、工作機械メーカー、設備メーカーや一般ユーザーなどの来場者に好評を博しました。

今回のJIMTOFの全体テーマは「地球に、未来に、優しいモノづくり」です。工作機械メーカーはそれぞれ環境や省エネを意識した製品を展示しました。NSKブースでも、工作機械業界のニーズを1歩も2歩も先取りする最先端技術を筆頭に、NSKの技術力の高さを強くアピールしました。

今回の「JIMTOF 2008」では、「製品や技術の源は人である」という基本に立ち戻り、社員を前面に出す展示会を企画しました。また、技術者や営業担当者で構成される若手主体のプロジェクトチームを立ち上げ、各チームの担当者を取り上げた広告宣伝・ブースデザインを展開しました。新聞や雑誌に掲載された誘致広告には、チームの代表者が登場し、それぞれの展示内容のヒントを紹介、会場のブースでは、説明員として待機する担当者の名刺を飾った大胆なデザインが来場者の目をひいていました。

展示品を紹介する説明員

参考出品された「240m/minの超高速テーブル」は、ボールねじを使った工作機械用テーブルで世界最速の240m毎分を実現したものです。新製品の「高速工作機械用ボールねじHMDシリーズ」の最高120m毎分の2倍の速さを提案し、来場したメディアや一般来場者は、極限の世界を追求したNSKの技術力に大いに驚いていました。

また、工作機械業界のトレンドである5軸加工機や複合旋盤向けの主軸用として「50,000min⁻¹スピンドル」が同様に参考出品として出展されました。新たなオイル潤滑システムによって毎分5万回転を達成し、超高速化の限りない可能性を提案しました。

ブースの入り口にはオブジェ「リフティングボール・キャッチャー」が展示されました。ボールを楽々投げ上げては衝撃なく受け止める、人の手の動きに似た動作をボールねじで実現し、NSKのメカトロ技術の真髄を象徴する技術展示として、来場者の関心を集めました。そのほか、新製品の「超低形ローラガイドRBシリーズ」、「25,000min⁻¹高速・高出力グリース補給スピンドル」、「新型保持器付きロバストアンギュラ玉軸受」など、今後の工作機械に役立つ新製品を展示しました。併せて、このプロジェクトチームそれぞれの社員が最先端技術を用いた展示品の開発など出展の準備からJIMTOF会期中のブースでの顧客対応まで担当することで、NSKの今後の技術を担う若手社員の成長を促す良い機会にもなりました。

リフティングボール・キャッチャー

NSKはこれからも、工作機械業界の未来に役立つ最先端技術を追求し、高い付加価値を持つ製品を開発し続けていきます。

NSK NEWS

ベアリング・グロッケンが展示されました。

～BankART Life Ⅱ「心ある機械たち」展～

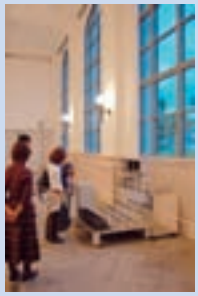
NSKの90周年記念イベント「Smooth Sailing for BEARING –NSKベアリングアート展–」（2006年）に出展された作品のひとつ「ベアリング・グロッケン」が、現代美術の国際展覧会「横浜トリエンナーレ」に併せて開催された展覧会BankART LIFE Ⅱ「心ある機械たち」展に（2008年9月15日～2008年11月30日）出展されました。

展覧会場の様子

©BankART1929

「機械」と「運動」をテーマにしたこの展覧会には13組の国内外からの様々なアーティストそれぞれの作品が並べられていました。アーティスト・川瀬浩介氏とNSKの共同制作による「ベアリング・グロッケン」は、ベアリングに使用されている「地球上で最も丸い」と言われるベアリングの球（鋼球）を使って鉄琴を自動演奏させる、新しい発想の楽器です。

1929年に建てられた元銀行建築の中にある展覧会場で、訪れた人たちが会場に流れるグロッケンの音色に静かに耳を傾ける姿が見られました。


©BankART1929

普段目にすることのないベアリングを使用した作品の展示は、幅広い層へのNSK及びベアリングへの理解を深めていただくきっかけとなりました。

会社概要（2008年9月30日現在）

商　　号：日本精工株式会社（NSK Ltd.）
本　　社：東京都品川区大崎一丁目6番3号
設　　立：1916年11月8日
資 本 金：671億円
従業員数：5,235名（NSKグループ 26,024名）
主な事業内容：産業機械軸受、自動車関連製品、精密機器関連製品等の製造販売

取締役メンバー

主な事業所及び工場

東日本自動車第一部（厚木）
神奈川県厚木市中町2-6-10
東日本自動車第一部（富士）
静岡県富士市永田町1-124-2
東日本自動車第二部（大崎）
東京都品川区大崎1-6-3
東日本自動車第二部（東海）
愛知県安城市三河安城町1-9-2
東日本自動車第三部（宇都宮）
栃木県宇都宮市東宿郷2-2-1
東日本自動車第三部（東海）
愛知県安城市三河安城町1-9-2
東日本自動車第四部（高崎）
群馬県高崎市栄町16-11
東日本自動車第四部（熊谷）
埼玉県熊谷市筑波3-4
中部日本自動車部（豊田）
愛知県豊田市下市場町5-10
中部日本浜松自動車部（浜松）
静岡県浜松市板屋町111-2
西日本自動車部（大阪）
大阪府大阪市中央区北浜東1-26
西日本自動車部（広島）
広島県広島市南区大州3-7-19
藤沢工場
神奈川県藤沢市鵠沼神明1-5-50
大津工場
滋賀県大津市晴嵐1-16-1
石部工場
滋賀県湖南市石部が丘1-1-1
埼玉工場
埼玉県羽生市大沼1-1

役員（2008年9月30日現在）

取締役	（代表執行役社長）		朝香　聖一
取締役	（代表執行役副社長）		町田　　尚
取締役	（代表執行役副社長）		大塚　紀男
取締役	（代表執行役専務）		原　　道夫
取締役	（執行役専務）		出川　光夫
取締役	（執行役専務）		庄司　雅夫
取締役	（執行役常務）		阿部　信義
取締役			村本　　薫
社外取締役			伊庭　　保
社外取締役			佐成　豐彦
社外取締役			岡部　　弘
社外取締役			植野　道雄
執行役	専務		松田　和雄
執行役	常務		谷川　　彰
執行役	常務		新保　敏英
執行役	常務		齋藤　量一
執行役	常務		建部　幸夫
執行役	常務		小林　秀一
執行役	常務		正田　義雄
執行役	常務		小森　　勉
執行役	常務		芝本　英之
執行役	常務		高橋伸一郎
執行役	常務		斉藤　佳男
執行役	常務		満江　直樹
執行役			相島　雅一
執行役			市川　達夫
執行役			大坪由二郎
執行役			武岡　博和
執行役			河島　邦雄
執行役			高川　恵介
執行役			殿塚　　崇
執行役			磯貝　喜七
執行役			桑原　克己
執行役			長竹　和夫
執行役			ノルベルトシュナイダー
執行役			御木　高直
執行役			松原　正英
執行役			石田　　孝
執行役			長島　俊幸
執行役			内山　俊弘

連結子会社　89社

主な連結子会社名

- NSK販売(株)
- NSK福島(株)
- NSKステアリングシステムズ(株)
- NSKプレシジョン(株)
- NSKニードルベアリング(株)
- NSKマイクロプレシジョン(株)
- 日本精工九州(株)
- (株)天辻鋼球製作所
- NSKアメリカズ社(アメリカ)
- NSKコーポレーション社(アメリカ)
- NSKブラジル社(ブラジル)
- NSKヨーロッパ社(イギリス)
- NSKベアリング・ヨーロッパ社(イギリス)
- NSKベアリング・ポーランド社(ポーランド)
- 恩斯克投資有限公司(中国)
- NSK韓国社(韓国)
- NSKベアリング・インドネシア社(インドネシア)
- NSKインターナショナル(シンガポール)社(シンガポール)

持分法適用会社　17社

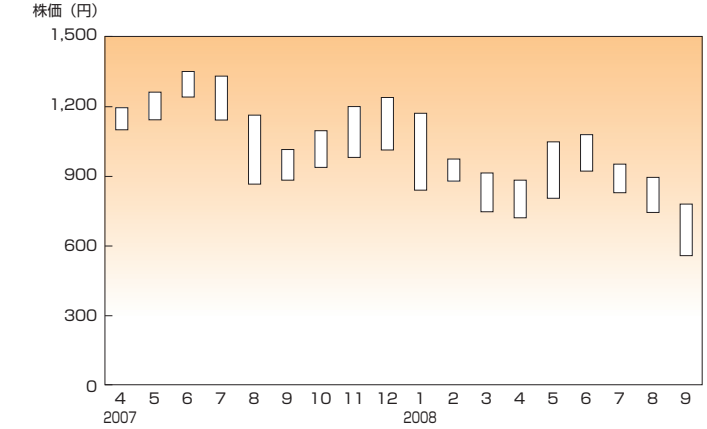
主な持分法適用会社名

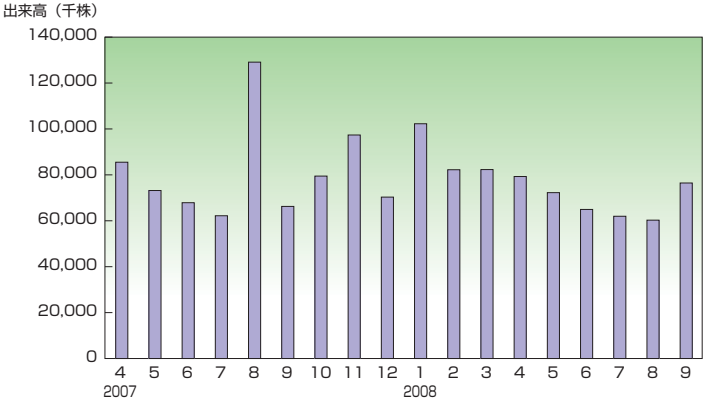
- NSKワーナー(株)
- 井上軸受工業(株)
- NSKベアリング(タイ)社(タイ)

株式の状況（2008年9月30日現在）

資本金：	67,176,546,655円
発行済株式総数：	551,268,104株
株主数：	25,698名
当上半期中の名義書換件数：	525件
当上半期中の名義書換株数：	15,479,840株

株価及び出来高の推移（2007年4月～2008年9月）



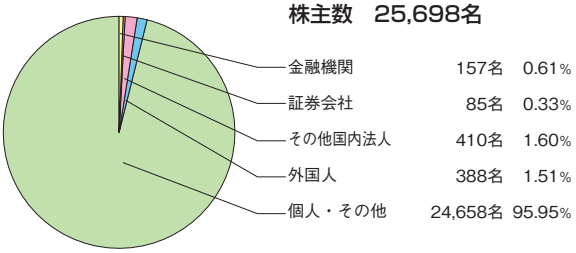


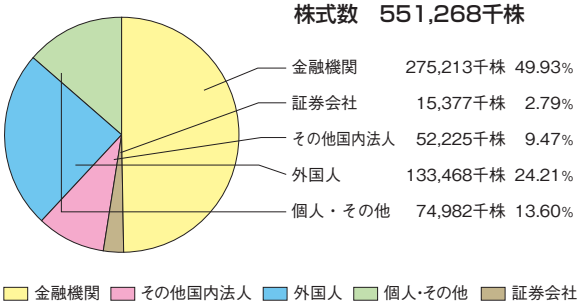
大株主

株主名	所有株式数	出資比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	42,267千株	7.67%
富国生命保険相互会社	32,000千株	5.80%
日本生命保険相互会社	30,575千株	5.55%
明治安田生命保険相互会社	26,726千株	4.85%
株式会社みずほコーポレート銀行	21,511千株	3.90%
日本トラスティ･サービス信託銀行株式会社(信託口)	20,747千株	3.76%
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	18,349千株	3.33%
日本トラスティ･サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	13,808千株	2.50%
日本トラスティ･サービス信託銀行株式会社 (住友信託銀行再信託分･トヨタ自動車株式会社退職給付信託口)	10,709千株	1.94%
トヨタ自動車株式会社	10,000千株	1.81%

（注）上記以外に、当社は自己株式10,254千株（出資比率1.86%）を保有しております。

所有者別分布状況





株主メモ

● 決算期	4月1日～翌年3月31日
● 定時株主総会	6月
● 配当の基準日	期末配当金ー3月31日 中間配当金ー9月30日
● 1単元の株式の数	1,000株
● 株主名簿管理人	〒103-8670　東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
● 同事務取扱場所	〒103-8670　東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
● 郵便物送付先	（平成20年12月30日まで） 〒135-8722　東京都江東区佐賀一丁目17番7号 （平成21年1月5日から） 〒168-8507　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社　証券代行部
● お問合せ先	0120-288-324（フリーダイヤル）
● 同取次所	みずほ信託銀行株式会社　全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社　本店及び全国各支店
● 公告方法	電子公告により行います。http://www.jp.nsk.com 但し、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する日本経済新聞に掲載する方法により行います。

単元未満株式を保有されている皆様へ

当社では、単元未満株式の買増制度を導入しており、ご所有の単元未満株式を1単元（1,000株）とするため、必要な数の株式の買増しを当社に請求することができます。また、単元未満株式の買取りも行っております。以上のお手続きをご希望の方は、みずほ信託銀行証券代行部（株券保管振替制度をご利用の場合はお取引口座のある証券会社）までお問合せください。

NSK 日本精工株式会社
ホームページアドレス：
http://www.nsk.com/

円滑でくらしやすい地球のために NSK
PRINTED WITH SOY INK
R100 古紙パルプ配合率100%再生紙を使用